

令和6年 7月19日（金）

## 第1学期終業式 ～ 明日からの夏休みを有意義に！ ～

第1学期終業式が行われました。校長式辞で宮地校長は、「小さな努力の積み重ねの大切さ、つまり日々の習慣という誰にでもできることが、目標や目的を実現するための有用な方法であります。自分の目標や目的を実現するための一番の近道は習慣を身に付ける、ということかも知れません。これから長い休みが始まります。この夏休みを、将来へとつながるような、いい習慣を身に付ける機会にしてほしいと思っています。そして、いい習慣を身に付けることが、先行き不透明で予測困難な時代にあっても、自ら学び、自ら鍛え、たくましく生きる人へと成長してくれることに、つながることを願っています。そして、これからはじまる夏休みを有意義に過ごし、2学期の始業式には、みなさんが笑顔で登校してくれることを願っています。」と述べました。

生徒を代表して、橋本さん（機械科1年）は、「1学期を振り返ってみると3か月前の入学式、すべてが真新しくとても緊張していたことを覚えています。専門科目の授業では、最初は専門的な言葉や内容がとても難しく、覚えることが大変でした。クラスに中学の友人が誰一人おらず不安でしたが、自分のクラスが山口先生を中心に円満で、とても元気で賑やかなクラスだったので、不安が消えました。3年間共に過ごすクラスの仲間との道後散策の遠足も楽しい思い出になりました。これからもさらに信頼関係を深め、切磋琢磨していきたいと思っています。最後に明日から始まる夏休みを有意義に過ごし、2学期も元気に通い、学業に励みたいです。3年生は目標に向かって頑張ってください。」と話しました。



第1学期終業式



校長式辞 宮地校長先生



生徒代表の言葉 橋本さん



校歌斉唱